

各地での取り組み交流

運動の輪ひろげること確認

「保険で良い入れ歯を」の運動が、全国各地に広がる中、九月二十六日に連絡会結成総会が開かれた。

連絡会には、これまで準備表明している、参加団体は、
中心に十団体が正式参加を と健康を守る会連合会、老



新たな国民的運動のスタートをきった連絡会結成総会（9月26日・東京）

後保険地域団体連絡協議会、全日本年金者組合、全日労建設農林一般労働組合、全労連全国一般・吉田製作所労働組合、全日本民医連、新日本医師協会、日

各団体のとりくみ

みを報告

総会には、坂野かおるさん（民医連・歯科衛生士）、

宇佐美保団連常任幹事が司会を行い、冒頭に老地連事務局長の上坪陽氏より開会の挨拶、続いて元日本歯科技工士会常務理事の大沢文雄氏から基調提案、新婦人副会長の山川フサさんが運動方針、歯科技工士の栗原

氏より申し合わせの提案をそれぞれ行った。

討論の中では、新婦人が秋の運動に「保険で良い入れ歯を」の要求を位置づけ、既に北海道、京都などで民

医連の協力も得て学習会を行った経験、民医連から千葉・流山市で地域連絡会の準備、北海道での学習会の経験、年金者組合から自治体要請の経過、また調布市での意見書採択の経験など各地、各団体の活動が報告された。

「良い入れ歯とは」の論議も

さらに良い入れ歯とは何か、どのようにすれば実現できるかなどの運動内容に関する意見も活発に出され、改めて学習の必要性が確認された。

また情勢に関して、一部の歯科医師会の地方自治体

での意見書採択に反対する動きが紹介され、国民の要求に背を向ける姿勢に厳しい批判の意見が相次いだ。

総会には比江嶋俊和民医連歯科部会長による、連絡会発足を宣言する「よびかけと私たちの要求」の提案と方針や申し合わせを採択し、「一層全国で運動の輪を広げよう」との閉会の挨拶で総会を終了した。

井上原文相、他多数メッセージ

上裕参議院議員、衆議院厚生委員長牧野隆守衆議院議員、柳沢伯夫、岡田克也各衆議院議員（以上自民党）、永井孝信、沖田正人、外口玉子各衆議院議員（以上社会党）、公明党厚生部会長遠藤和良衆議院議員、金子満広、児玉健次各衆議院議員、西山登紀子参議院議員（以上共産党）からメッセージが寄せられた。

総会には、前文部大臣井